

## 会 議 録

会 議 名	令和元年度第 2 回野田市地域福祉計画審議会
議題及び議題ごとの 公開又は非公開の別	1 野田市地域福祉計画【第 3 次改訂版】(素案)について(公開) 2 パブリック・コメント手続の実施について(公開)
日 時	令和元年 10 月 29 日(火)午後 1 時 30 分から午後 2 時 57 分まで
場 所	市役所高層棟 8 階大会議室
出席者	<p>委 員 三澤 朋宏 石井 芳子 幡野 喜志子  石神 勢津子 江原 正子 岡安 誠人  瀬能 千恵子 小俣 文宣 谷田貝 多吉  山中 邦枝 渡辺 隆 堀越 秀樹  市川 厚 鈴木 弘子</p> <p>事務局 保健福祉部長 直井 誠  保健福祉部次長(兼)生活支援課長 富山 芳則  障がい者支援課長 小林 智彦  高齢者支援課長 大月 聡  介護保険課長補佐 東風谷 一  保健センター長 中代 英夫  子ども支援室長 池田 亜由美  児童家庭課長 小林 利行  保育課長 鈴木 和則  子ども家庭総合支援課 須田 光浩  人権・男女共同参画推進課長 戸邊 卓也  総務部次長(兼)人事課長 富山 勝之  行政管理課長 渡邊 宏治  広報広聴課市民相談係長 林 由美子  市民生活部次長(兼)市民生活課長 大塚 盛也  防災安全課長 森下 元博  商工観光課主査 竹田 敏也  生涯学習課長 川野 尚武  青少年課長 桑村 典子  指導課長 山田 桂一  学校教育課管理主事 谷中 隆維  社会福祉協議会事務局長 田中 洋介  生活支援課長補佐 染谷 尚之  生活支援課社会係長 工藤 隆利  生活支援課社会係主事補 鶴ヶ谷 礼美</p>

欠席委員	須賀田 貞彦 松村 由貴 岡田 さおり 永田 和子 金本 秀之 小林 恵一 荒木 なおみ 山本 由紀子
傍聴者	無し
非公開の事由	無し

事務局	(開会) < 令和元年度第2回野田市地域福祉計画審議会を開催する。当会議が原則公開であることの説明、本日の出席状況の報告、会議の成立宣言、傍聴者がいない旨の報告、委員選出区分の表記が変更になったことの説明、配布資料の確認、委員の選出区分の変更及び新任公募委員が委嘱されたことによる委員全員の自己紹介 >
議長(会長)	それでは議事に入ります。 『野田市地域福祉計画【第3次改訂版】(素案)について』を議題といたします。 本日は、前回の審議会において、諮問を受けました「野田市地域福祉計画【第3次改訂版】の策定について」の素案がまとまったということですので、事務局から説明をお願いします。
保健福祉部次長 兼生活支援課長	素案について資料を基に説明 < 生活支援課長の説明を受け、委員から以下の質問等があり、それぞれについて回答 >
小俣委員	国の方の方針とか整理という問題もあるが、地域社会の実現に向けた体制づくりの文言の最後が「検討を進めまして」とか、「検討進めます」という言葉で終わっている。 「検討進めます」との場合、具体的にどのくらいの期間で行うのか。
保健福祉部次長 兼生活支援課長	早ければ来年の通常国会に改正社会福祉法が提案される。何をするかについては、地域の実情に応じてというのが国の方針。全国的に地域共生社会の実現に向けた具体的な取組を示す中で、本市としては、具体的な事業

<p>小俣委員</p>	<p>について検討をしていきたい。</p> <p>こういうものは、地域で国に先んじて考えて良い問題ではないか。自殺者というのは毎日のように出ている。野田市も減っているが、いなくなっではない。</p> <p>それに対して具体的に地域住民が、主体的に支援体制をやっていく。野田市としてどういうスタンスでやっていくのか。</p>
<p>保健福祉部次長 兼生活支援課長</p>	<p>野田市として包括的な相談支援体制の整備というのが一番考えられる。それがどういう形になるかという、具体的にお示しするのは難しい。近隣市においても、この辺りを視野に体制について検討中というような段階。</p> <p>当市としても、この辺をきっかけづくりとして進めたい。</p>
<p>市川委員</p>	<p>私は民生委員もやっていて、何かあったときにどこに相談に行ったらいいのかわかりにくい。今回、この体制を作るということで、高齢者さん、子供さん、障がい者さん、生活保護受給者さん、外人さん、いろいろな方がいると思うが、複合的な課題を持っていた場合、一義的な相談は民生委員の担当になっている。</p> <p>ゲートキーパーを育成して、そこで受付整理をし、振り分けて専門機関を紹介する。専門機関と市役所との連携で解決を図っていくストーリーだが、いろいろな課題が複合的、複雑化している中で、組織を作ると書いてあるが、どのようなものか。また、市役所の庁内での連携について知りたい。</p>
<p>保健福祉部次長 兼生活支援課長</p>	<p>ゲートキーパーは資格等があるわけではなく、専門的な仕事に携わる人も含め、それぞれ身近な人が自殺の危険を示すサインを感じ取り何らかの支援をし、自殺防止対策につなげる。</p> <p>市役所庁内の連携については、地域共生社会がそもそも、制度分野ごとの縦割りでなく、丸ごとというようなものなので、市の内部においても、それぞれの仕事で完結ということではなく、例えば自殺とか貧困とかに関</p>

	<p>して言えば、例えば税の部署で税の対応の中で生活困窮とか、最終的には自殺の危険性などの相談を受ける中で、気づき関連の部署の対応につなげるような認識の中で仕事をするようにしている。</p>
市川委員	<p>定期的に何かそういう会合はあるのか、テーマを決めた中での複合的な庁舎内の連携会議はその都度行うのか。</p>
保健福祉部次長 兼生活支援課長	<p>共通認識を図るための会合は現在のところない。 飽くまでも、我々生活支援課では生活困窮であるとか、自殺の対応について、いろいろな察知できる部署に、気づきのお願いをしているのが現状</p>
石神委員	<p>前回の会議のときにもお話したが、私はケアマネジャーをしており、高齢者を取り巻く課題、障がいを持つ高齢者、65歳以上になる方がこれからどんどん増え、介護保険だけでは賄えない部分も出てきている。 取り巻く家族の状況により、支援が困難になっている。それに対して市ではこれからどのような対策をしていくのか。 私自身、来年65歳になる。元気で今、活動をしている。65歳になっても活動できる方はたくさんいる。そういった方々の活躍を促すため、市として具体的にやってきたことがあれば教えてほしい。</p>
保健福祉部次長 兼生活支援課長	<p>今の照会であった高齢者の関係の連携は、今までは、連携が繋がったような形の中での施策はなかった。 先ほど、今後検討という部分について御意見があり、正にそれらについても今後、どのような連携、体制が構築できるかについて検討する。</p>
石神委員	<p>眠っている人的資源に対し、市役所として、どのようなアクションがあったか教えてほしい。</p>
介護保険課長補佐	<p>現在、高齢者の方自らが介護保険に取り組むための施策として、ボランティアポイントがあり、説明会に出ていただき登録をし、介護施設等で、ボランティアをやっていただくとポイントがたまる。1年間そのポイント</p>

	<p>をためていただき、最高五千円をポイント交換していく制度です。</p>
石神委員	<p>何人ぐらい講習受けて、そのうちの何人が活動しているのか。</p>
介護保険課長補佐	<p>30年度で、約390名が登録、そのうち、何名が活動しているというのは不明だが、登録自体は390人ほど</p>
石神委員	<p>これからゲートキーパーを育成する中で、講習は受けたけど、やらない方も出てくると思う。そういう方をフルに活用できるようにしていかないと、せっかく良い講習を受けても、続かなければ効果が期待できない。やはり自殺対策イコールいろいろなところにつながると思う。</p>
市川委員	<p>先ほど、人材育成の話があったが、育成するというよりもそのまま高齢者の方が活躍できる。企業で専門の仕事をされて退職した方たちで、元気な方が多くいる。</p> <p>そういう人たちがボランティアというと、今は昔と違って生活が結構厳しい人たちがいる。</p> <p>ポイントも良いが市役所の非常勤職員として、そういう人を採用して活用していくのも一つの方法では。</p> <p>牛久市では10年くらい前に、職員を少し減らし、専門職員の方とかを非常勤職員として採用し経費を削減し、財政的にも良くなった。そういったことも参考にしていただけたらと思う。</p>
保健福祉部次長 兼生活支援課長	<p>市でも様々な相談で、面接対応というようなことで、臨時職員の方を採用して対応している。</p> <p>市の取組もあるということでしたので、その辺も含めて、また検討という言葉になってしまうが、させていただきたい。</p>
小俣委員	<p>まず一つは、啓発と周知とか、生きることの促進、要支援者への支援とかある中で、38番の徘徊<sup>はいかい</sup>高齢者家族支援サービスについて。</p> <p>前にも尋ねたが、徘徊<sup>はいかい</sup>される方にGPSの端末をお持ちいただき、徘徊<sup>はいかい</sup></p>

<p>保健福祉部長</p>	<p>したときにどこにいるか検索するシステムだが、以前は随分少なかった。その後、高崎市などでは1,000個用意したと聞いた。野田市でも数は増えているか。</p> <p>GPSの貸出しということで、市で携帯型のものを10年以上貸し出ししているが、持って歩く場合、認知症の方がいつも使っていないものがポケットとかに入っていたりすると、出して捨てたりする。</p> <p>そういったこともあり、家族の方の支援のため、貸出しをしているが、利用者が現在2人で、ほとんど増えていない。</p> <p>最近では、洋服とか靴とかにタグをつけて、スマートフォンで読み取れ得るような物を付けるなどの方法も出てきている。</p> <p>防災無線で聞かれているとは思いますが、元気な方だと、本当にどこまででもいってしまうので、何らかの新しい装置の導入等を考えている。</p>
<p>小俣委員</p>	<p>少し離れるが、この間、大雨が降って私も避難の勧告を受けた。市では福祉避難所として指定されている場所が3か所あり、そのうちの一つが芽吹学園で、ハザードマップでいったら5メートル。地震ならともかく、この間のような大雨で、しかも利根川が越水するかもしれない状況で、福祉避難所、障がい者の避難所が3か所しかない。もう少し増やす検討を要望する。</p>
<p>障がい者支援課長</p>	<p>今回の台風の関係で芽吹学園については、ハザードマップ上でも色がついている地域であり、そこを福祉避難所として公示すると非常に危険なので、今いる入所者約60人については福田第二小学校の方に、市から車を出しながら、市の職員がついて避難いただいた。当然洪水だけではなく、福祉避難所自体がほかの災害、地震なども含めて設定されている。ただ、3か所しかない。</p> <p>福祉避難所はいきなり開ける場所ではなく、二次的な避難所ということで、通常の避難所に行って、そこでの生活が無理な方や避難所生活が長期化する場合に開く形をとっている。</p> <p>新しく障害者福祉施設や高齢者福祉施設など福祉施設ができています中</p>

岡安委員	<p>で、今後の福祉避難所の在り方を検討していく計画になっている。</p> <p>「ささえて」と「支え手」が、平仮名と漢字で混在している。</p>
保健福祉部次長 兼生活支援課長	<p>国が漢字で表記しているので、それに統一する。</p>
鈴木委員	<p>小中学校、児童生徒のSOSが、野田市として大きな問題だと思う。</p> <p>1月に子供さんが大変な思いをし、この場合は親御さんに問題があったと思うが、子供同士のいじめや、先生と子供の相性の悪さでいじめにつながるような場合や先生同士のいじめとかが問題になっている。それを一新するため、野田市としてはどのように考えているのか。</p>
指導課長	<p>教育界は今、報道等でいろいろな場所を騒がせている。</p> <p>野田市の場合、1月にあった虐待事件から始まり、信頼を失ってしまった部分があるとは思いますが、すぐにできることをすぐにやるというようなスタンスで取り組んでいる。</p> <p>教育委員会として、児童家庭課や、子ども家庭総合支援課などと連携をとりながら、いろいろな問題に取り組んでいる。</p> <p>いじめの防止というような観点で、年間2回、いじめの実態調査を行っており、今年度については、教員と子供の信頼関係のもとでアンケートを実施するため、個人面談を全小中学校の児童生徒に行った。</p> <p>例年、市内小中学校合わせて800件ぐらいのいじめの認知件数が、今年度については、その7月に実施の段階で1,400件程度になった。</p> <p>これはただ単に自然に増えたということではなく、子供たちと教職員の意識が向上して出てきたものだと思っている。</p>
石神委員	<p>今、いじめのことが出たが、民間からのいじめが疑われるという通報は1年間でどのくらいあるか。</p>

指導課長	<p>民間からというのはほとんどない。学校の子供たちからであるとか、年間2回のアンケートからの認知となっている。</p>
石神委員	<p>虐待についてはどうか。虐待の通報はどれくらいあるか。</p>
子供家庭総合 支援課長	<p>虐待については1月にあのような事件があり、2月1日現在で166件の虐待があるということでの進行管理をしている。</p> <p>今現在400件になっており、そのうちの通告というのはやはり小学校、中学校、主に小学校が多くある。</p> <p>また、保育所、幼稚園、一般、民生委員からの通告も受けているが、やはり多いのは小学校からのもの</p>
石神委員	<p>虐待などを見たり聞いたりした場合に通報する義務が国民にはあるわけですが、私も実際、どこに電話していいかわからず、電話帳を調べてまではしない。何らかの形で「見える化」しておけば、絶対そこに電話すると思う。電話する側にも勇気がいると思う。そういったことを配慮しながら、やっていただけたらと思う。</p>
児童相談所 堀越委員	<p>野田の事件があつてか、児童相談所の信頼は大分薄まってしまったのかなと思うが、今3桁で189という番号にかけていただければ、交換センターを通じて各児童相談所の方に転送されることになっている。以前はお金が掛かったりしたが、改善されて189で各児相につながる。</p> <p>今、お話を伺って、まだまだ周知が足りないということも十分分かっており、11月が虐待防止月間ということで、千葉県ではあらゆる面で、ラジオ放送や、電車内の広告といったもので189を宣伝しようと考えている。野田の事件を受け、県庁の方で独自に考えた案として今後啓発を進めていく。</p>
子供家庭総合 支援課長	<p>補足として、189については3月から4月にかけて、ポスティングによる全戸配布を実施した。</p> <p>あわせて、希望のあった自治会、地区社協、防犯組合等の総会等に出席</p>

議長（会長）	<p>させていただき、189の説明を行った。</p> <p>それから民生委員については、月1回の定例会の方に出席させていただき、虐待のあると言われるところの情報共有もしており、189についても、更に皆さんに周知していくことを考えている。</p> <p>議題1の野田市地域福祉計画第3次改訂版の素案については、事務局の原案のとおり、決定することで異議ございませんでしょうか。</p> <p>異議無しの声</p>
議長（会長）	<p>異議無しとのことですので議題2の野田市地域福祉計画第3次改訂版の素案については決定されました。</p> <p>続きまして議題2パブリック・コメントの実施について議題といたします。事務局の説明をお願いいたします。</p>
保健福祉部次長 兼生活支援課長	<p>資料に従い、パブリック・コメント手続について説明</p>
議長（会長）	<p>説明がございましたが、何か質問はありますか。</p> <p>パブリック・コメント手続の実施については事務局案通り決定することで御異議ございませんか。</p> <p>異議無しの声</p>
議長（会長）	<p>異議がありませんので、パブリック・コメント手続の実施については決定されました。</p> <p>以上で本日の議事が全て終了いたしました。最後に事務局から何かございますか。</p>
生活支援課長補佐	<p>次回の審議会は、3月上旬を予定している。</p> <p>審議の内容は、議案2で説明したパブリック・コメント手続の結果につ</p>

議長（会長）	<p>いて説明をさせていただき、野田市地域福祉計画、【第3次改訂版】策定についての答申を頂きたいと考えている。</p> <p>なお本日、資料訂正をさせていただきましたが、エンゼルプランなどの関連の検討の見直しが同時並行的に進捗している部分もあるので、今後、パブリック・コメントの意見募集の開始前までに素案に変更が生じた場合は、用字用語の整理や簡易な修正などは除き、会長に確認をしていただいた上で委員の皆様には郵送により報告したい。</p> <p>これをもちまして令和元年度第2回野田市地域福祉計画審議会を終了させていただきます。</p> <p>皆様、本日は大変お疲れ様でした。</p> <p>（閉会）</p>
--------	--